

◎ポラス、女性目線徹底のマンション好調  
―新越谷の85戸で新たな提案、今後も追求

ポラスが18年12月末に販売を開始した埼玉県越谷市に建築中の分譲マンション「ルピアコート新越谷」(85戸)の売れ行きが予想を上回る好調で、4月までに残り8戸になった。東武スカイツリーライン・新越谷駅徒歩5分、JR武蔵野線・南越谷駅徒歩6分の好立地のほか、一次取得子育て世代層の要望に徹底的に応えた提案が大きな評価を得た形だ。

同マンションはRC造8階建て、延床面積6559・64㎡、各戸の専有面積は62・81〜72・24㎡で、参考坪単価(最終販売期)は約205万円から。エントランスの水盤や敷地の緑化などで外観の上品さを演出し、各戸の設計では、子育て女性の目線を細部まで巡らせた。

定番のキッチン・リビング・ダイニング一体の開放空間や流行の効率的な家事動線の採用に加えて、中が見えない通風口付き新型玄関ドアや通風口付きの各部屋扉で住戸全体への風通しを実現。各収納スペースに工夫を凝らし、一例としてキッチンの下にはごみ箱複数を収納できる空間、収納に困りやすい背の高いグラスもスムーズに入る引き出しなどを採用。洗濯機設置場所の上部には吊戸棚だけではなく、ハンガーパイプも備えた。このほかにも細やかな工夫を多数施した。マンションは概ね、立地・価格帯・ブランドが購入の決めてになりがちだが、営業現場の体感ではモデル棟を見学し徹底した女性目線・家事目線に魅せられて購入に至る例が多くを占める。同社はこうした傾向を従前から重視しており、今回も試験的に新たな工夫を導入するなど、商品企画を着実に進歩させている。今後のマンションでも追求し、ポラスのマンションの新たなブランド力として確立させていく方針だ。